

special interview

# HARA

原 一樹(市立船橋高校→駒澤大学/日本高校選抜)

# KAZUKI

## 更なる飛躍を目指して

鮮烈なデビュー戦だった。前期リーグ第3節、2-2で向かえたロスタイム、今日初出場の原が放ったヘディングは順大ゴールに突き刺さった。このゴールで順大は勝ち点1ではなく勝ち点3を拾った。

そんな原はこの春、日本高校選抜の一員としてヨーロッパに旅立った。そこでは数々の驚くような体験をしたという。そして帰ってきた原は言った、「もっと、うまくなりたい」と。(インタビュー、文・内田浩嗣)

## 絶対このチャンスをもものにしようと思った

—大学サッカーはどう(インタビュは順大戦の試合後に行いました)?

原 やっぱ、高校サッカーとは違ってスピード、速さすべてが要求されるので振り払われないようにくっついていきたいです(笑)。

—デビュー戦にして初ゴールの感想は?

原 みんながゴールへ、ゴールへとなっていた結果だと思えます。それでチームが目指していたところにたまたま自分がいたという感じです。突然の出番だったけど、監督からの指示は?

原 前からガンガンいけという、FWによく出される指示でした。突然の出場だったけど緊張とかなかった? 今日はいらないかなあ〜と思っていました(笑)。でも、アクシデントでチャンスがまわってきて絶対にこのチャンスをものにしてやろうという気持ちで臨みました。でも、はじめのほうは緊張でボールも止められなくて(苦笑)。試合にはいる前に気をつけていたことは?

原 自分のミスから点をとられないことと、やっぱりみんなの期待に答えられるように少しでも頑張ろうと思えました。

—高校選抜から帰ってきたばかりだけど疲れは?

原 時差ボケがひどくて、寝れない、朝頭が痛いという状態が続いて。でも、今日はそんなことなく、「おお、試合にはちゃんとコンディションが整う体になっているじゃん」「みたいな感じでした(笑)。だから今日は万全のコンディションでした!

—チームにはすんなり馴染めた?

原 本当にみんなあたたかく迎えてくれてもう、すぐにチームに馴染めました。2日間しか帰ってきてから今日まで時間がなくてもう少し時間があればコミュニケーションとかもとれたんですけど。でも、2日間でみんな出来る限り接してくれたんで本当にいいチームです。

**俺、納豆とご飯があればやっつけていけるんですけど……**

—じゃあ、少し高校選抜の話聞いていいかな。ヨーロッパはどうだった? 原 あっちの選手は来るときにくるんですよ。削りに来るんじゃないって、ルー